

ともに生きる



「福祉」とは…

ふだんの
くらしの
しあわせ



について



しゃかいふくしほうじん さいたまけんしゃかいふくしきょうぎかい
社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会

はじめに

わたしたちの住む地域には、多様な人々によるさまざまな暮らしがあります。

- そして、社会の変化とともに暮らしの中にある福祉課題(困りごと)は、
- いくつも合わさり、複雑になっています。

今、私たちの社会はすべての人々が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる

地域共生社会の実現を目指しています。

そのため福祉教育では、地域に住むみんなで「ともに生きる」とはどんなことか、

自分には何ができるかを考えるなどして、「お互いに支え合う地域(ふ・く・しのまち)」を目指しています。

本冊子は、福祉とは何か、その主人公は誰かなど、やさしく解説しています。

学校における総合的な学習の時間の教材として、

また、地域住民のボランティア活動を育む場面に活用していただければ幸いです。

本冊子をきっかけとして、「ともに生きる力」の大切さや「地域の支え合い」の必要性など、

大人も子どももみんな豊かな福祉の心を育てていただくことを願います。



社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会

contents

目次

はじめに

目次

1 ページ

福祉ってなんだろう？

2 ページ

考えてみよう！あなたのそばで起きていること

3 ページ

考えてみよう！あなたのまちで起きていること

4 ページ

福祉とは…

5 ページ

『みんな』って誰のことだろう？ 6 ページ

伝えたいこと 7 ページ

「ふ・く・しのまち」をつくるために 8 ページ

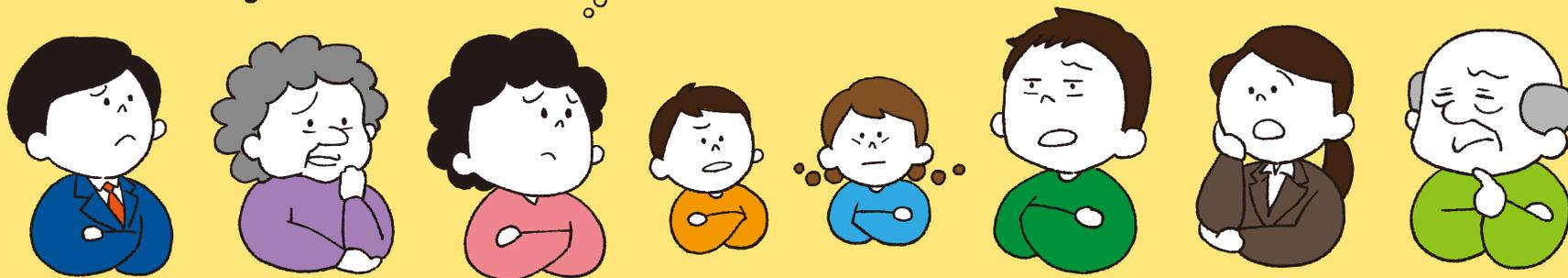
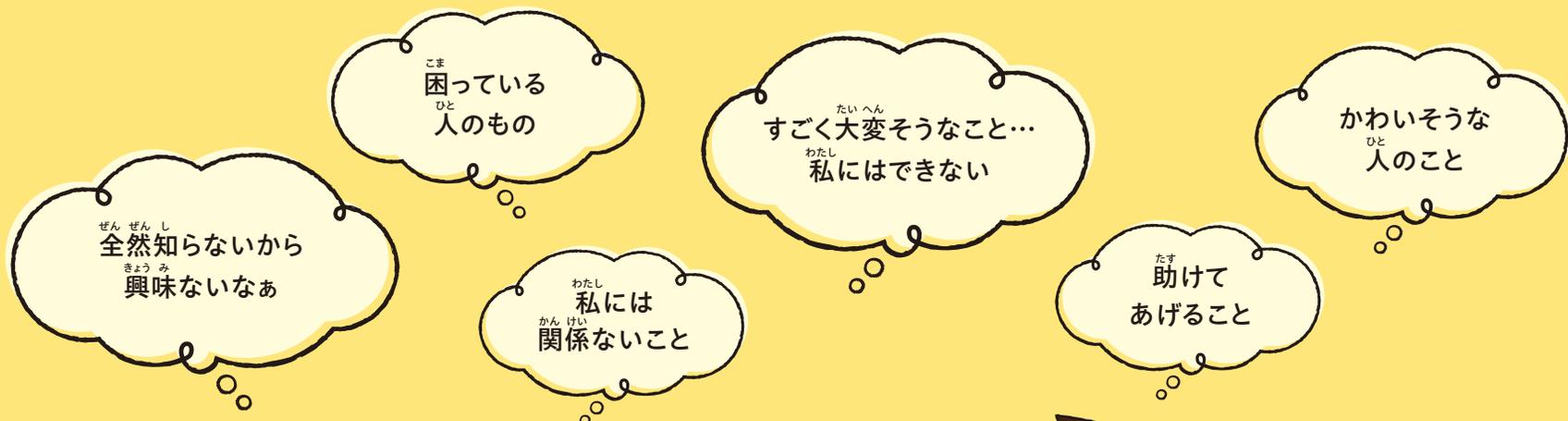
「みんなの福祉」への道のり 9 ページ

あとがきに替えて 10 ページ

社会福祉協議会とは？

ふく し 「福祉」ってなんだろう？ //

どんなイメージがありますか？



ほん とう
本当にそれだけでしょうか??



かんが

考えてみよう！ あなたのそばで起きていること

相手の立場になってみて！ どうしてほしいのかな？



ぼめん
どんな場面かな？

かんが
まずは考え
てみよう！



ぼめん
どんな場面かな？

かんが
まずは考え
てみよう！



ぼめん
どんな場面かな？

かんが
まずは考え
てみよう！



ぼめん
どんな場面かな？

かんが
まずは考え
てみよう！



ぼめん
どんな場面かな？

かんが
まずは考え
てみよう！

こんな言葉、知っていますか？

ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインは、はじめから、障害があるかどうかや、年齢・性別などに関係なく、誰もが使いやすいように、まちや周りのいろいろなものをデザインする考え方です。

やさしい日本語

外国から来た人たちにもわかるように工夫をして、簡単にした日本語のことです。

「やさしい日本語」は、外国から来た人たちだけでなく、子どもや高齢者、障害のある人などにとってもわかりやすいやりとりの方法として、まちの情報や生活情報、毎日のニュースなど様々な場面で取り組みが広がっています。



かんが

考えてみよう！ あなたのまちで起きていること

暮らしの中にある福祉課題(困りごと)



ひきこもり
不登校



子どもの
貧困



失業
就労困難



ゴミ屋敷
多頭飼育崩壊



災害

ヤングケアラー



虐待・暴力



外出・
買物難民



ご近所トラブル
騒音問題



少子高齢化



ホームレス



ふく し
福祉ってなんだろう？

ふく し
「福祉」とは…

ふ だんの

く らしの

し あわせ

とく べつ だれ
特別な誰かの
ためのものではなくて、
『みんな』のもので
あるということ



「ふだんのくらしのしあわせ」の主人公はあなた自身である！

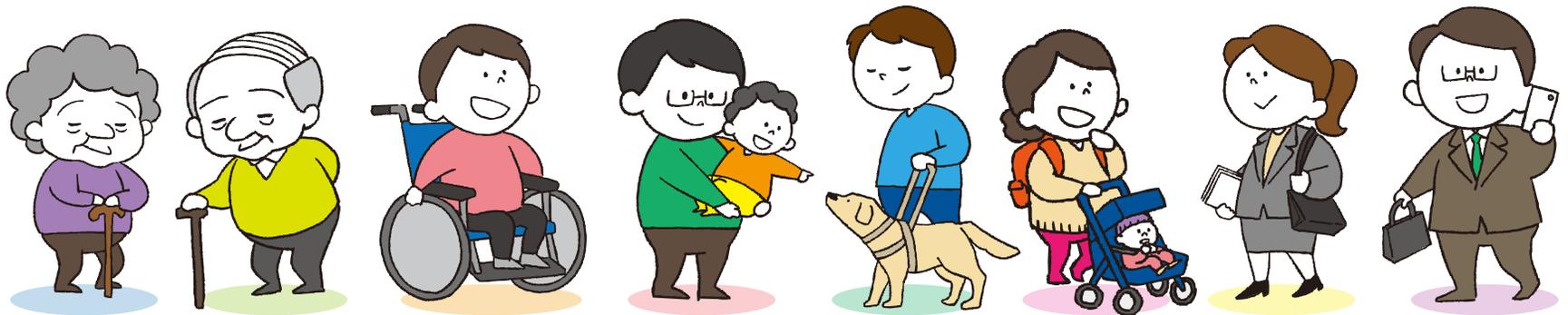
ふくしとは、「ふだんのくらしを自分らしく幸せに暮らす」を実現していくことです。
それは、かわいそうな人や障害のある人だけに関係があることではありません。
なぜなら、あなたも含めた、すべての人にとって当たり前のことだから。
まずは、あなた自身の幸せは何かを考えてみましょう。

まいにち く なか しあわ かん
毎日の暮らしの中で、あなたが幸せを感じることはどんなことですか？

書いてみよう！

『みんな』^{だれ}って誰のことだろう？

^{わたし} 私たちが暮らしているまち・^{ち いき} 地域には、
^{ひと} いろいろな人たちがいて、さまざまな暮らしをしています。
『みんな』とは、あなたを^{ふく}含め、こうした^{すべ}全ての^{ひと}人たちということです。



^{ひとり} ひとり ^{ひとり} ひとり
“一人一人ちがうことが、あたりまえで、ちがうことが、ふつうなんだ”

あなたのまちには、^こ子どもから^{としよ}お年寄り、^{しょうがい}障害のある人、^{ひと}外国人など、^{がいこくじん}たくさん^{ひと}の人がいます。

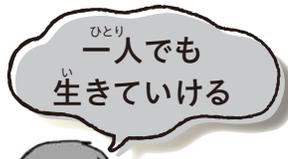
みんなの^{かお}顔が一人一人ちがうように、^{せいかく}性格や^{かんが}考え方、^{かた}幸せも^{しあわ}ちがいます。

ちがうことが^あ当たり前^{まえ}です。

^{ひとり} ひとり ^{ひとり} ひとり
一人一人ちがうからこそ、^{おも}思いやりの^{こころ}心をもつこと、^{こえ}声をかけあって^{せいかつ}生活していくことが、『^いともに生きる』ということです。

伝えたいこと ともに生きることの大切さ

「ふ・く・し(福祉)」は、障害のある人や高齢者、
お金のない人など、特定の人のための特別なものではありません。
あなた自身にとっても大切なことであり、
「ふだんのくらしのしあわせ」は、誰にとっても無くてはならないものです。



本当にそうでしょうか？

誰もが年を取り、誰もが大小関わらず病気になる。思わぬ事故に遭い、大ケガをした
り障害を負う可能性だってあります。



これまでのあなたの人生を思い返してみま
しょう。そして、これからのあなたの人生を想像
してみましょう。生まれてからこれまで、いろん
な人と関わり、誰かに支えてもらい、ときには
誰かを支えることもありながら、生きてきたの
ではないでしょうか？そしてそれは、この後のあ
なたの人生でも、同じはずです。



相手の立場になって、自分のこととして
考えようとする“思いやりの心”を
持つことが、ともに生きる第一歩です。



「みんなの福祉」への道のり

わたしにできることは何だろう？

かんが
まずは考え
てみよう！

みんなの福祉

「困った人のための特別なものではない」「お互いさま」



福祉 = 「ふだんの暮らしのしあわせ」

支え合いには、友達や家族、隣近所のものから地域ぐるみのもので、大小さまざまなものがあります。あなたやあなたの大切な人のくらしは決して自分たちだけで成り立っていないことがわかるはずです。

自分の身近にある支え合いにはどんなものがありますか？

「わが事(自分ごと)」の第一歩は、相手の立場・気持ちになって、自分に何ができるか、問題が何か疑問を持つこと

あなたの身近な人だけでなく、地域に住むいろいろな人を思い浮かべてください。いろいろな人の様々なくらしが見えてくるはずです。

あなたのそば、あなたのまちはどんな人が暮らしていますか？

自分の幸せは自分だけの力で実現されているものではありません。きっと家族や地域の人など、誰かによって支えられているはずです。

自分の幸せは、周りの人の幸せとは無関係でしょうか？

重要なのは、自分の幸せを大切にすることと同じくらい周りの人の幸せを大切にすること

誰かのための福祉

「かわいそうな人」「困っている人のもの」「無関心」

あななりたくない...

障害がなくてよかった

自分には関係ない

あなたの幸せは何ですか？

幸せになりたいと思っているのは、障害者や高齢者、困っている人だけでしょうか？

幸せに暮らしたくない人なんていません。それは、障害があろうと、高齢であろうと、関係なく誰もが求めることです。

「ふだんの暮らしのしあわせ」の主人公はあなた自身である！

福祉 = 弱者を支える

「一人一人が毎日、幸せに暮らせるようになるためには、どうすればいいだろう。
 幸せに暮らせていない人たちのことも考えて、
 みんなが幸せに暮らせるためにはどうしたらいいだろう。」

福祉とは、すべての人々が「ふだんの 暮らしの しあわせ」を実現させることであり、その根拠は「生存権保障」(憲法第25条)と「幸福追求権」(憲法第13条)です。かけがえのない命を持つすべての人が尊重される社会を目指すノーマライゼーション(※)の考え方にも通じます。

しかし、私たちの社会そのものに「福祉=弱者を支える」というイメージがいまだに根深く残っており、車いす・手話等の疑似体験や技術習得のみを目的とした体験学習では、結果として「障害者はかわいそう」といったマイナスの福祉観を生む場合があります。

※ノーマライゼーションとは、障害があっても当たり前前に生活できる社会こそ正常(ノーマル)であるという考え方。

そこで、「一人一人が毎日、幸せに暮らせるようになるためには、どうすればいいだろう。幸せに暮らせていない人たちのことも考えて、みんなが幸せに暮らせるためにはどうしたらいいだろう。」という福祉観の転換を促す必要があるのです。

福祉は困った人のための特別なものではなく、私たちにとって大切なものであり、私たちの暮らしている地域が、誰にとっても住みやすい地域になるように、みんなで考えていくことが大切です。

コラム 「ふくし(ふだんの暮らしのしあわせ)」の反対語ってなんだろう？

ある小学校の5年生のクラスで「ふくし」についての授業が行われたときのこと。「どんなときにふだんの暮らしのしあわせを感じますか」と担任が質問することから授業が始まった。1時間の授業を通して、さまざまな幸せ、いろんな考え方があることを探求していくが、授業の最後に、担任が子どもたちに「ふくしの反対語は何だろう」と問いかけた。

その質問に一人の児童が「戦争」と答えた。

「ふくし」の反対に戦争がある。戦争や内戦がおこれば、「ふだんの暮らしのしあわせ」はたちまち消え去ってしまう。つまり、福祉は平和や民主主義があってはじめて成り立っている。平和のなかにある日本では、福祉という制度やサービスばかり思い浮かべるが、小学5年生の彼から教えられたのは、福祉やふくしの土台に「平和と民主主義」が基盤にあること。まさに憲法第9条を大事にしていく考え方が、「ふだんの暮らしのしあわせ」というメッセージのなかには込められているということだった。

社会福祉協議会 しゃきょう (通称:社協)とは？

社会福祉協議会は、民間の社会福祉活動を推進することを目的として、昭和26年(1951年)に制定された社会福祉事業法(現在の「社会福祉法」)に基づき、各都道府県・市区町村に設置されている組織です。

地域の皆さまが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざしたさまざまな活動を行っています。

たとえば、ボランティアや市民活動の支援、各種の福祉サービスや相談活動、共同募金運動など、全国的な取り組みから地域の特性に応じた活動まで、さまざまな場面で地域の福祉増進に取り組んでいます。

社協の主な事業(例)



地域生活上の福祉に関わる各種相談事業

高齢者・障害者等への在宅福祉サービス(ホームヘルプサービス等)



ボランティアコーディネート/サロン活動/災害ボランティア活動の調整

埼玉県内の市町村社会福祉協議会

ボランティアに関することや福祉教育・ふくし学習に関するご相談などお気軽にお寄せください。

市町村	電話番号
さいたま市	048-835-3111
川越市	049-225-5703
熊谷市	048-588-2345
川口市	048-252-1294
行田市	048-557-5400
秩父市	0494-22-1514
所沢市	04-2926-8202
飯能市	042-973-0022
加須市	0480-62-6451
本庄市	0495-24-2755
東松山市	(地域福祉課)0493-23-1251
春日部市	048-762-1081
狭山市	04-2954-0294
羽生市	048-561-1121(内線541)
鴻巣市	048-597-2100
深谷市	048-573-6563
上尾市	048-773-7155
草加市	048-932-6770
越谷市	048-966-3411
蕨市	048-443-6051
戸田市	048-442-0309
入間市	04-2963-1014
朝霞市	048-486-2479
志木市	048-485-1177
和光市	048-452-7111
新座市	048-480-5705
桶川市	048-728-2221
久喜市	0480-23-2526
北本市	048-593-2961
八潮市	048-995-3636
富士見市	049-254-0747
三郷市	048-953-4191

市町村	電話番号
蓮田市	048-769-7111
坂戸市	049-283-1597
幸手市	0480-43-3277
鶴ヶ島市	049-271-6011
日高市	042-985-9100
吉川市	048-981-8750
ふじみ野市	049-265-3606
白岡市	0480-92-1746
伊奈町	048-722-9990
三芳町	049-258-0122
毛呂山町	049-295-3111
越生町	049-292-2977
滑川町	0493-56-6345
嵐山町	0493-62-0722
小川町	0493-74-3461
川島町	049-297-7111
吉見町	0493-54-5228
鳩山町	049-296-5296
ときがわ町	0493-65-1536
横瀬町	0494-22-7380
皆野町	0494-62-4615
長瀬町	0494-66-1139
小鹿野町	0494-75-4181
東秩父村	0493-82-1238
美里町	0495-76-3601
神川町	0495-74-1188
上里町	0495-33-4232
寄居町	048-581-8523
宮代町	0480-32-8199
杉戸町	0480-32-7402
松伏町	048-991-2700



ともに生きる『ふ・く・し』について

令和4年3月

〒330-8529

埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ内
 社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 埼玉県ボランティア・市民活動センター
 TEL 048-822-1435 FAX 048-822-3078



この冊子は、共同募金の助成金で発行しています。